

# ゆのまえ 議会だより



No. 33  
令和3年  
2月15日発行

「住民に見える議会」  
「住民が参加しやすい議会」  
「議会力・議員力の向上」を実現する

## 議会が変われば町も変わる



### P2 特集 1

議会の新体制決まる

### P4 特集 2

議会広報調査特別委員会を設置

### P5 特集 3

議会だより2期連続の受賞

### P6 本会議

改選後の議会スタート

P10 一般質問に3人が登壇

P14 委員会

P16 全員協議会

P18 研修・議員派遣

P19 一部事務組合

P20 住民の声

### 今号の写真

新人議員2人を含む新体制の議席です。新型コロナウイルス対策で議席間を空けています。二元代表制の一翼を担う議会が前向きに機能すれば町は変わります。

### 訂正

前号(32号19ページ)で報告した新型救急車の機装費用は2261万6000円の誤りでした。

特集1

# 議会の新体制 決まる

## 議長に倉本議員 を再選

11月15日の湯前町議会議員選挙において、10人の議員が選ばれました。11月19日の議員懇談会で各議員の希望を把握し、11月27日の臨時会で議会構成が決まりました。議長、副議長、常任委員、議会運営委員、3つの一部事務組合議員などをそれぞれ選出しました。

### 議長

倉本議員と味岡議員による選挙の結果、7票を獲得した倉本議員が第28代議長に就任しました。



倉本 豊 議長

町民の暮らしが良くなる視点で、自分ファーストの議会・議員ではなく、町民ファーストの議会を目指します。

### 副議長

無投票で金子議員が副議長に就任しました。



金子 光喜 副議長

議長のサポートはもちろん、議会全体の議員力の向上や議会改革に積極的に取り組みます。

### 常任委員の選任

今期から常任委員会の数を3つから2つに変更しました。①議員の公平な割り振り、②委員会調査に係る職員負担の軽減、③委員会経費の削減などの効果が見込まれます。

役職	総務厚生文教常任委員会	企画経済建設常任委員会
委員長	椎葉 弘樹	遠坂 道太
副委員長	吉田 精二	味岡 恭
委員	倉本 豊	山下 力
	黒木 龍次	金子 光喜
	西 靖邦	森山 宏

総務厚生文教常任委員会

椎葉 弘樹 委員長



町民と職員のために寄り添い、町の課題を解決しながら、住民福祉の向上を目指します。

企画経済建設常任委員会

遠坂 道太 委員長



町の経済が発展するために、町の課題解決に積極的に取り組みます。

議会運営委員会

黒木 龍次 委員長



湯前町のため、議会運営に最善の努力をします。ご支援をよろしくお願いいたします。

役職	議会運営委員会
委員長	黒木 龍次
副委員長	森山 宏
委員	金子 光喜
	椎葉 弘樹
	遠坂 道太

一部事務組合

一部事務組合	議員
人吉球磨広域行政組合議会	椎葉 弘樹、西 靖邦
球磨郡公立多良木病院企業団議会	金子 光喜、遠坂 道太
上球磨消防組合議会	森山 宏

熊本県後期高齢者医療  
広域連合議会

熊本県後期高齢者医療広域連合議会の議員は、市町村長または市町村議会議員の中から選出されます。

黒木 龍次 議員



湯前町議会 令和2年11月27日

## 特集2

# 議会広報調査特別委員会を設置

## 本町議会の情報発信を強化

議会だよりの発行だけでなく、議会ホームページやYouTube、SNSによる情報発信を調査しながら充実していきます。

議会広報調査特別委員会は、議会の活動状況を広く周知し、町政への理解と関心を深めるために、効果的な情報発信に努めます。

増強された6人の新委員会で、いろいろな媒体を活用し、更なる「見える議会」を進めていきます。

役職	議会広報調査特別委員会
委員長	森山 宏
副委員長	西 靖邦
委員	金子 光喜
	椎葉 弘樹
	遠坂 道太
	吉田 精二

牛つと(ギユツと)掲載  
魅エール(見える)議会  
を目指します。



森山 宏  
委員長



委員会の様子

特集3

# 議会だより 2期連続の受賞

## 県町村議会広報コンクール

第15回熊本県町村議会広報コンクールで、湯前町議会の議会だよりが2期連続の特別賞を受賞しました。このコンクールは2年に1回開催されるもので、本町議会としては2度目の応募で2度目の受賞となります。

各賞	今回	前回
特選	南阿蘇村	大津町
入選	南関町 大津町	南関町 西原村 多良木町
特別賞	湯前町 あさぎり町	湯前町 産山村 五木村



# 改選後の議会スタート

## 全議案を可決

12月定例会は、14日から21日まで8日間の日程で開かれました。議員3人が一般質問を行い、補正予算や条例改正などを審議しました。また、11月27日と1月15日に臨時議会を開催しています。

人（未就学児）、放課後等デイサービス支援20人（小学校から高校生）利用者がいます。  
※令和2年11月末時点

### 主な補正予算

これまでの預かり支援を拡充し、障害児通所支援利用者の不安を解消します。

**障がい児の通所支援  
放課後児童クラブの  
新規支援**

障害児居宅生活支援利用者負担特別助成金

11万1000円

**放課後児童健全育成  
事業関連**

354万7000円

障害児通所支援事業の療育利用適正化に伴うもので、慈光学童クラブに1支援を増設します。（国3分の1、県3分の1を充当）

保護者の負担を軽減するため、3月までの利用料の2分の1を助成します。

球磨管内では、全額助成が水上村と山江村。2分の1助成が錦町、多良木町、相良村、球磨村、湯前町。助成なしがあさぎり町と五木村です。

本町には、児童発達支援5



支援を増設する慈光学童クラブ

**まんが美術館グッズ作製委託料の追加  
グッズ売上の使途の明確化を求める** 20万円

令和2年7月豪雨の災害復興支援として、村枝先生からグッズ販売に向けたデザインをご提供いただきました。グッズの売上金は、町の収入なのか、災害対応に充てるのかなど、使途を明確にするよう議員から指摘しました。



グッズ販売の環境整備が課題

**[参考] まんが美術館等活用計画**

オリジナルグッズ製作・販売促進事業は受付コーナーを設置し、グッズ販売ができる環境を整備します。

## 想定されるワクチン接種のスケジュール

2月下旬	医療従事者など
4月以降	① 65歳以上の高齢者
	② 基礎疾患を有する方 高齢者施設などの従事者
	③ それ以外の方

### 新型コロナウイルス対策 (国負担)

ワクチン接種体制確保事業対応業務委託

85万8000円

厚労省からの通達により準備作業を先行させる委託料です。予防接種システムにおける対象者向けの予診票、名簿

ワクチン接種委託料

378万7000円

本町の予防接種に係る委託料です。高齢者から一般の方まで段階的に接種を行います。

一括作成、接種情報管理などを一元管理します。

## 令和2年7月豪雨災害の復旧費

農林業・道路・河川など

◎農地災害復旧工事 令和2年7月豪雨災害で被災した農地の復旧工事	2464万9000円
◎農業用施設災害復旧工事 令和2年7月豪雨災害で被災した農業用施設の復旧工事	1039万9000円
◎強い農業・担い手づくり総合支援事業補助金 令和2年7月豪雨災害で被災した農業用機械・設備の取得を支援	411万9000円
◎道路・橋りょう災害復旧費 町道永岡線・町道牧良線ほか5路線	7286万円
◎河川災害復旧工事（竹の谷川・大谷川）	7000万円
◎永岡地区治山災害復旧工事	950万円
◎山ノ口土捨て場候補地測量設計業務委託料	750万円
◎河川災害復旧応急修繕料（宮の谷川掘削工事）	55万2000円
◎湯前町農地自力復旧事業補助金 令和2年7月豪雨災害で被災した農地の復旧を支援	40万円

## 主な条例改正

### 湯前町認可地縁団体印鑑条例の制定

制定内容は、町内の1地区から水路を当該区の財産として登記し管理する旨の相談があり、今後もそのような案件に対応できるように、町の条例を整備するものです。

これまで行政区が保有する財産は、行政区名義では不動産登記ができませんでした。このため、会長の個人名義や役員の共有名義で登記が行われ、その後の名義変更や相続などに問題が生じてきました。

## 教えて議会

### 認可地縁団体とは

平成3年に地方自治法の一部が改正され、行政区のような団体は、一定の手続きを行い、町長から法人格の認可を受けることで、その財産を行政区名義で不動産登記することができるようになりました。このような一定の手続きで法人格を取得した団体を**認可地縁団体**といいます。

### 湯前町農林業関係事業分担金等徴収条例の一部を改正する条例

改正内容は、天災などで被害を受けた際の分担金の減免を、「本町に住所を有し町税などの滞納がない者」に限定するものです。

## 反対討論 椎葉議員

分担金の免除は、令和2年7月豪雨で被災した農地の復旧費を農業受益者に負担させないもの。今回の改正内容は、町税などの滞納者に分担金の負担を求めるもの。大災害時における農地復旧(町長特例)は、納税の義務と切り離して支援するべき。

## 人事案件

### 教育委員会委員の選任

(旧)橋本龍一 氏

※任期満了

(新)堤田秋男 氏

※任期 令和3年2月2日～  
令和7年2月1日

### 湯前町監査委員の選任

#### 新人の吉田議員を同意

任期満了を迎える湯前町監査委員は、長谷町長から識見を有する者として堀江尚司氏、議選委員として吉田精二氏が提案され、両名とも選任同意しました。



堀江氏(左)と吉田氏(右)



その他の主な予算

◎地方バス運行等特別対策補助金（赤字補填の市町村負担割分）	367万3000円
◎湯前版中山間地域直接支払補助金（追加）	123万6000円
◎介護予防拠点施設整備費補助金（野中田1区）	86万円
◎災害対応コピー使用料（令和2年7月豪雨の災害対応）	60万円
◎中央公民館の雨漏り修繕料	50万円
◎インフルエンザワクチン代（追加）	13万2000円

議案審議など 賛否一覧

議案	吉田 精二	西 靖邦	遠坂 道太	椎葉 弘樹	森山 宏	黒木 龍次	味岡 恭	金子 光喜	山下 力	倉本 豊	審議結果 (賛成：反対)
湯前町監査委員の選任につき同意を求めること(議選委員)	※	○	×	○	○	○	×	○	×	-	同意（5：3）
湯前町農林業関係事業分担金等徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	可決（8：1）
湯前町認可地縁団体印鑑条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決（9：0）
令和2年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決（9：0）
令和2年度特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決（9：0）
議会広報調査特別委員会の設置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決（9：0）
湯前町教育委員会委員の任命につき同意を求めること	無記名投票									-	同意（9：0）
上記以外の議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決（9：0）

○：賛成 ×：反対 -：採決なし（議長は採決に加わりません） ※：除斥

# 一般質問に3人が登壇

## 執行部の考えを質す

12月定例会の一般質問では、議員3人が執行部の考えを質しました。今回の一般質問も新型コロナウイルスの議会对応により自席から行いました。

質問者(登壇順)	質問項目	ページ
金子光喜	①新型コロナウイルス対策の現状と課題 ②役場庁舎および周辺整備	11
遠坂道太	①防災対策	12
椎葉弘樹	①持続可能な商工業の支援 ②少子化時代における子育て環境の支援	13
吉田精二		
西靖邦		
森山宏		
黒木龍次		
味岡恭		
山下力		
倉本豊		

### 議会の傍聴

議会傍聴は、受付で名前を書けば、どなたでも入場できます。議会傍聴により、執行部と議員の緊張感が高まり、質疑や答弁のレベル向上が期待できます。お誘いあわせの上、ぜひご来場ください。

### 一般質問のYouTubeライブ配信(生放送)を行っています。

一般質問は、これまでIP告知端末放送(2チャンネル)とYouTube動画による録画配信を行っています。これに加えてYouTubeのライブ配信(生放送)も視聴できるようになりました。パソコンやスマートフォン、タブレット端末から視聴できます。

◎ご自宅のIP告知放送  
(2チャンネル)



◎YouTube動画  
(「湯前町オフィシャル」で検索)





金子 光喜 議員



録画中継

問 コロナ対策の現状は

答 リスクを下げることを  
念頭に取り組んだ

**要旨** これまでの対策・対応と計画の進捗状況

**答弁** 課長会による対策本部会議で議論を重ね取り組んできた。マスク不足の際には約1万2000枚配布した。国の臨時交付金を活用して37の事業を行ってきた。

- プレミアム商品券事業、商業者経営持続化補助金事業など(企画観光課)
- 庁舎玄関自動ドア化、光ブロードバンド回線速度補強など(総務課)
- 地域活力応援給付金事業、湯前町出身大学生等生活支援給付金事業(税務町民課)
- 農林振興課、保健福祉課、教育課でもさまざまに取り組んでいる。

**要旨** 学校現場での対応

**答弁** 検温、手洗い、手指消毒、マスク着用の大原則を徹底しており、授業中の換気や三密を避けた対応もしている。授業の遅れなども心配されたが、計画どおりに進んでおり安心している。コロナを理由にした人権問題やイジメなどの例は聞いていない。今後も無いように指導をお願いしている。

問 役場庁舎および周辺整備

答 改築せず補修で対応



自動化が予定される庁舎玄関ドア



たびたび不足する役場駐車場

**要旨** 整備改修は完了したか  
**答弁** 築50年を経過しているが、昨年までの改修で災害対策本部としての耐震は確保できた。長寿命化するために補修は必要。

を控えるお願いはできると思う。また、お隣の明導寺さんの駐車場をお借りした対応もしてきた。

**要旨** 役場の駐車場不足対策  
**答弁** 慢性的な駐車場不足が、集団検診や会議の開催時に起きていた。敷地内の駐車可能台数が107台、職員の車が現状75台あり、対策を練っている。職員に車の通勤



遠坂 道太 議員



録画中継

**問** 防災対策は

**答** 総合的に体制を整備し  
防災減災に取り組む

**要旨** 町が管理する河川の整備計画はどのように進めているか

**答弁** 一定の期間を定めた危険箇所の調査は実施していない。職員が現場に赴く際に道路、河川の状態を確認しながら通行している。住民からの情報がある場合は、現地を確認している。

県管理河川の都川は、県から町への受託事業で実施している。町管理河川は、予算の状況に応じて行う。都川は、

県の管轄であるが、隣接している土地は民間の所有者がそれぞれ管理するようになって

いる。中猪地区の都川は自然護岸であり、該当する補助事業がない。もし実施するとなれば、町単独の取り組みになる。

**要旨** 7月豪雨災害における土砂の撤去

**答弁** 国庫補助事業の対象となる災害は、24本の農地と農業施設災害がある。来年5月

までに農地の土砂撤去を完了するため、農地の所有者に撤去時期の説明をする計画である。農地の土砂、蓑谷ため池の土砂の合計は4万1342㎡。現在、6箇所 の排土先候補地があるが、3箇所 の候補地は、地権者、周辺の方々に相談をして取り組む。また、二次災害などが発生しないように安全対策を行う。

防災減災対策は、町の国土強靱化地域計画に基づき5つの基本施策の推進に努める。

- ① 町民の生命を守ること
- ② 町および社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること
- ③ 町民の財産および公共施設に係る被害を最小化すること
- ④ 被災された方々の傷みを最小化すること
- ⑤ 迅速な復旧復興を可能にすること

大災害に対して、総合的に防災体制を整備して、防災減災に取り組む町民の安心安全確保をしていきたい。



竹木が繁茂した都川流域



録画中継

椎葉 弘樹 議員

**問** 持続可能な商工業の支援を

**答** 商工業の支援・発展を目指す

**要旨** 補助事業の見直し(商工業への支援策の強化)

**答弁** これまで商工会長とトップ会談を何回もさせていただいており、今後もこれまでに以上に、積極的に連携させていただきながら、商工業の支援に邁進したい。

**要旨** 事業承継と新規創業の支援(移住定住などもセットにした民間の総合的な窓口)

**答弁** 移住定住を手掛ける組織との連携は調べたい。当地域の受け皿体制は十分なフォロー体制を構築することが一番。今、よそからの力を借りることは否定しない。

**要旨** 商業拠点の整備

**答弁** 湯楽里一帯と湯前駅一帯の商業拠点化は、有利な補助金制度を活用しながら、実現に向かうよう、商工業の発展のために頑張りたい。

**SDGs : 持続可能な開発目標**  
持続可能な世界を実現するための17のゴール

仕事と子育てが  
持続できる  
住環境づくり

**問** 少子化時代における子育て環境の支援は

**答** 住宅や保育の環境を整える

**要旨** 子育て支援の充実

**答弁** 学校給食費の支援は3割補助を始めたばかりなので、当分の間は様子を見たい。修学旅行の支援は財政当局と協議の段階。通学定期の支援は補助額のシミュレーションができています。来年度の当初予算で何とかやりたい。

**要旨** 「保育園」と「こども園」の方向性

**答弁** 両園の運営は課題点を十分お聞きしながら、その方向性を整理したい。

**要旨** 子育て世代の住環境整備

**答弁** 町営住宅の個別計画ができ次第示したい。駅前のJR跡地に6戸程度、子育て世代向け住宅を建設したい。社会資本整備総合交付金の中で予算要求が叶えば、来年度に設計ができればと思う。分譲地の整備も行いたい。

# 総務厚生文教常任委員会

12月17日

次の所管事務を調査しました。  
 ◎今後の所管事務調査内容の検討

委員長	椎葉 弘樹
副委員長	吉田 精二
委員	倉本 豊、黒木 龍次、西 靖邦

## 委員会活動の振り返りと今後の方針 町民の暮らしをよくする委員会活動を目指す

### 平成29年～令和2年 本委員会の所管事務に関する調査項目

厚生文教常任委員会		総務常任委員会	
<ul style="list-style-type: none"> <li>◎子ども議会</li> <li>◎小中一貫教育</li> <li>◎スポーツ行事の在り方</li> <li>◎新教育委員会制度</li> <li>◎指導主事の導入</li> <li>◎御大師堂・改善センター等改修計画</li> <li>◎歴史的風致維持向上計画</li> <li>◎学校ICT教育</li> <li>◎まんが美術館の運営</li> </ul>	教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎町有財産・公共施設</li> <li>◎消防・上球磨消防組合</li> <li>◎防災</li> <li>◎地域おこし協力隊</li> <li>◎町職員の定数管理</li> <li>◎光インターネット</li> <li>◎行財政</li> <li>◎公用車の管理状況</li> </ul>	総務課
<ul style="list-style-type: none"> <li>◎高齢者福祉・介護保険事業</li> <li>◎ゴミ問題</li> <li>◎総合戦略の事業検証</li> <li>◎保育施設</li> </ul>	保健福祉課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎マイナンバー制度</li> </ul>	総務課 税務町民課
<ul style="list-style-type: none"> <li>◎健康増進</li> <li>◎障害者福祉</li> <li>◎子育て支援</li> </ul>	保健福祉課 教育課	◎町税	税務町民課
		◎基金	会計室
		◎議会災害対応マニュアル作成検討	

#### 基本方針

- ◎単なる調査ではなく、町の問題点や課題に対して町民の暮らしをよくするための調査・審査を行う。
- ◎年に1回、委員会活動の検証と改善を行う。

## 企画経済建設常任委員会

12月17日、1月12日

次の所管事務を調査しました。

◎今後の所管事務調査内容の検討

◎排土処分候補地

委員長	遠坂 道太
副委員長	味岡 恭
委員	山下 力、金子 光喜、森山 宏

### 総合戦略などを調査

#### まずは現状の課題から

総合戦略には、企画観光課で19事業、農林振興課で11事業、建設水道課で4事業が記載されています。その中から事業を取り上げて調査を行っていきます。

### 山ノ口土捨て場候補地を視察

#### 2箇所を先行着手

令和2年7月豪雨災害などで発生した堆積土の排土先として町内7箇所が検討されています。

まずは山ノ口地区町有林（約1.1ha）と資材置き場（約0.9ha）の2箇所を先行着手します。

他の5箇所は所有者が複数いるため、今後の土捨て場候補地として協議を進めていく予定です。



土捨て場候補地の現地視察

# 全員協議会

12月7日、12月16日、1月13日

## 主な協議事項

### 総合計画(案)示される

令和3年度から長谷町政の計画始動 【企画観光課】

- |                        |                |
|------------------------|----------------|
| ◎湯前町まちづくりアンケート調査 [7月~] | → 調査結果の公表 [9月] |
| ◎パブリックコメント募集 [11月~]    | → 町長への答申 [1月]  |
| ◎総合計画(案)の協議 [12月]      | → 議会の議決 [3月]   |



## 第6次湯前町総合計画 始動 [4月~]

【前期】 令和3年度~令和5年度

【後期】 令和6年度~令和9年度

### 事業承継サポート事業

商工会と連携して支援 【企画観光課】

来年度から事業承継サポート事業を創設することが検討されています。商工事業所では高齢化や後継者不足が喫緊の課題です。これらの解決策として、親族内承継および第三者承継に意欲のある事業所などに対し、担い手育成と産業技術の伝承の取り組みを商工会と連携して支援します。



町と連携し商工事業所を支える商工会



## 来期の介護保険料を改定

### 第8期介護保険事業計画

【保健福祉課】

第7期(平成30年度～令和2年度)の第1号被保険者(65歳以上)の介護保険料基準額は6200円です。来年度から始まる第8期(令和3年度～令和5年度)介護保険料の試算額を協議しました。

	第7期	第6期
湯前町	6200円	5000円
人吉球磨の平均	6199円	5701円
熊本県の平均	6374円	5684円

## 来年度以降の住宅施策

### リフォーム事業の継続と住宅整備

【企画観光課、建設水道課、農林振興課、総務課】

3年間(平成30年度～令和2年度)で実施した住宅リフォーム(13件)と空き家リフォーム(9件)の補助事業の検証結果が報告されました。これらを受けて、来年度以降も制度を一部見直して実施することを協議しました。また、古い住宅の解体や子育て世代向け住宅などの整備方針が示されました。



移住定住と経済効果を持続する住環境整備

## その他の主な協議・説明・報告

議 題	担 当
◎湯前町認可地縁団体印鑑条例の制定 ※	総務課
◎くま川鉄道再生協議会の設立 ◎湯楽里中期計画	企画観光課
◎農地災害復旧事業分担金の基準を定める規定の一部改正 ※ ◎湯前町の排土先となる土捨て場候補地 ※ ◎強い農業・担い手づくり総合支援交付金 ※ ◎湯前版中山間地域直接支払交付金の取り組み状況 ◎単県治山事業及び球磨川流域復興基金交付金事業	農林振興課
◎令和2年7月豪雨に係る公共土木施設及び農林業施設復旧基本方針	災害復旧係
◎新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 ※ ◎障害児通所支援事業所の放課後等の預かり支援策 ※	保健福祉課
◎教育課の工事進捗状況 ◎湯前中学校修学旅行キャンセル料	教育課
◎新型コロナウイルス感染症対応	総務課ほか
◎人吉球磨の復旧・復興プラン	県球磨川流域復興局
◎スマート田んぼダム実証事業	県農村計画課

【凡例】※：予算関連は「本会議ページ」を参照

改選前(3カ月間)の研修・議員派遣

期 日	場 所	議員氏名	行事名
9月25日	熊本市	倉本 豊 味岡 恭	◇富安新副町長就任に伴う熊本県との意見交換会
10月 2日	熊本市	全 議 員	◇熊本県町村議会議員研修会 講師：防災システム研究所所長 防災危機管理アドバイザー 山村 武彦 氏 演題：「これからの防災のあり方」
10月 8日	あさぎり町	倉本 豊 味岡 恭	◇上球磨正副議長会 ◇上球磨4町村長と上球磨正副議長会との意見交換会
10月23日	湯前町	倉本 豊 味岡 恭 遠坂 道太	◇J Tの森前夜祭
11月12日	菊陽町	※選挙期間中 のため事務局 出席	◇町村議会広報研修会 講師：熊本大学客員教授 越地 真一郎 氏 内容：パネルディスカッション (パネラー) 南阿蘇村・山都町 あさぎり町・湯前町



選挙期間中に開催された町村議会広報研修会 (パネラー：西村議会事務局長)

## 公立多良木病院企業団議会

### 新型コロナへの備え

#### 無菌化対策で医療提供



診察室の無菌化を行うクリーンパーティション

公立多良木病院では、新型コロナウイルス感染症の対策を万全な体制で臨み、住民の健康と生命を守ることに取り組んでいます。一般質問では、「ポストコロナの医療提供体制」「老健施設のコロナ対策」などを執行部に質しました。



室内を陰圧にするパッケージ排気ユニット

<公立病院議員 金子・遠坂>

## 人吉球磨広域行政組合議会

### 議員定数削減の検討（平成21年以来の協議）

当組合における議員定数の削減が今後検討されます。「福寿荘」と「公立多良木病院 検診車」の各事業が令和元年度でなくなり、令和2年度には「人吉球磨ふるさと市町村圏特別会計」も廃止になります。現在の議員定数は30人。熊本県内の一部事務組合では最も多い人数です。

### 令和2年7月豪雨災害の復旧工事費

- ◎汚泥再生処理センターの災害復旧工事請負契約 19億4700万円
- ◎人吉球磨クリーンプラザ法面崩落の施設復旧工事費 514万8000円

<広域行政議員 椎葉・西>

## 上球磨消防組合議会

### 新型救急車を配備

社)日本損害保険協会から寄贈された車両に救命器材などを実装した新型救急車が、12月24日に配備されました。



- ◎令和2年の救急出動1577件
- ◎救助20件
- ◎火災14件

<上球磨消防議員 森山>

テーマを設定し、年4回にわたり住民の皆様からご意見をいただきます。今回は「新人議員の紹介」をテーマに吉田議員と西議員からご挨拶をいただきました。

## テーマ 新人議員の紹介



新人議員の吉田 精二です。

生まれ育った大好きな町で、これからも皆さんとの対話を通じ、心豊かに暮らせるよう、誠心誠意がんばります。

誰にでも、どこでも誇れる「湯前町」「湯前町議会」を目指し、先輩議員の皆さんとともに精一杯努力していく所存です。ご意見やご要望などお待ちしております。



新人議員の西 靖邦です。

私たちは、コロナ禍を乗り越えたその先のキラリと輝く町づくりに向けた歩みを止めるわけにはいきません。本年の干支である丑（牛）は、古くから農作業を手伝ってくれる、人々の生活に欠かせない動物で、その堅実で真面目な働きぶりから丑年は、「我慢（耐える）」や「発展の前触れ（芽が出る）」を表す年とされています。

明るい未来を招来するために全町民が「なんとかしなければ」という気概を持って必死に取り組めば必ずや叶うものであると考えています。

まだまだ未熟ですが、自身の経験を生かしながら町の発展のために尽力いたします。

「住民の声」にご協力いただける方は、議会事務局までお電話下さい。☎0966-43-4111(内線261)

## 編集後記

▶新年あけましておめでとうございます。昨年からのコロナ関連対策、豪雨災害復旧など道半ばでの新年の幕開けとなりました。一刻も早く平穏な日常生活に戻れることを願って止みません。

▶新体制となって初めての発行となりました。過去4年間のノウハウを生かし、更なる「住民に見える議会」の達成のために努めてまいります。

▶「ゆのまえ議会だより」のご愛読とご協力を今後ともよろしくお願いいたします。

(吉田)

### ◆議会広報調査特別委員会

私たちが編集しました。

委員長 森山 宏

副委員長 西 靖邦

委員 金子 光喜 椎葉 弘樹

遠坂 道太 吉田 精二

